

広報ほんべつ

# 本別

いいひと いいまち いきいきほんべつ  
HONBETSU

2017  
October  
No.1068

10月

表紙 本別きらめきタウン  
フェスティバル2017会場



Pick up

- ✿ 第24代本別町長 6期目就任のあいさつ
- ✿ 本別町児童発達支援センター「よつば」を開設します
- ✿ 開町記念式典で4人の功労者を表彰
- ✿ 地域おこし協力隊が行く **Part 2**

# 共生・協働の安心と活力

まちに活力と雇用を

くらしに安全・安心を

# と夢あふれるまちづくり

子どもに夢と未来を

自主・自立のまちづくり

## 第24代本別町長 高橋正夫

サブタイトルは、「まちに活力と雇用を」「くらしに安全・安心を」「子どもに夢と未来を」「自主・自立のまちづくり」の4点を掲げました。

一つは、本町の資源を活かした産業の振興と企業立地の促進で雇用創出と活力に満ちた町をめざすこと。二つ目は、町民と築いた「福祉まちづくり」の精神を生かし、福祉、介護、医療、健康、防災、住宅など、住民の生活基盤の充実拡大を図り、町民生活の安定に寄与すること。三つ目は、「ほんべつ学びの日宣言」の精神を生かし、4つの風事業の推進と教育環境の向上を図り、子どもに未来と夢いっぱいあふれるまちづくりをめざすこと。四つ目は、行政のスリム化を図り、全ての町民が自立して生き生きと生活するものであります。

6期目の町政推進にあたり、本町を取り巻く課題を明らかにし、これを基軸にした施策（事業）をお示しさせていただきました。

一つ目の柱「産業の振興と企業立地で雇用を創出し、元気なまちを目指します」

二つ目の柱「町民と共に築いた『福祉まちづくり』を発展させます」

三つ目の柱「学びの環境を充実させ、子供たちに夢と未来を約束します」

四つ目の柱「自主・自立のまちづくりを推進します」

施策・事業の推進にあたっては、総合計画・町財政との調和を図り、議会のご審議をいただきながら、今後4年間のまちづくりの指標として全力で実現を図ってまいります。

これからの町政運営にあたっての基本的な考え方と、主な施策・事業について申し上げます。町を思う町民の熱意と私の思いを一つにして、決意を新たにして、施策・事業の実施に全力を尽くしてまいりますので、これまで同様のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。6期目就任に当たってのごあいさつといたします。



このたびの町長選挙におきまして、町民の皆さまの信任をいただき引き続き6期目の町政を担うことになりました。

最初、元職員が地方税法違反、加重取崩および業務上横領の容疑で逮捕されましたことにつきまして、誠に遺憾であるとともに、改めて町民の皆さまに深くお詫び申し上げる次第であります。今後二度と起こさないよう、職員一丸となって信頼回復に努めてまいります。

本町を取り巻く環境は一段と厳しさを増しておりますが、本町の舵取り役として、責任の重大さを痛感するとともに、皆さまの負託に応え、町民の一層の幸せと、町政発展のために私の力の及ぶ限り、全エネルギーを傾注してその任にあたる決意であります。

私は就任以来、一貫して町民と歩んできた協働のまちづくりを基本理念に、将来を担う子供たちの健全な成長および教育の充実と、暮らしの安全・安心を守る健康福祉、介護、医療、防災など町民生活を原点にサービスマインドの整備を全力で推進してまいりました。この間、度重なる災害や町をゆるがす大きな出来事に直面しましたが、町民皆さまの「町を愛し」「まちを育てよう」との熱い思いと、その行動力によって幾多の試練を乗り越えることができました。

この素晴らしい「町民力」は、ほんべつのまちづくりの原動力であり、本別に暮らす誰もが人生を楽しみ、地域がそれぞれの個性を発揮し、いきいきと安心して暮らすことができ、自信と誇りをもって、笑顔で「任んで良かった、任んでみたい」と実感できるまちを、今後とも、全力で築いてまいります所存であります。

ここで、6期目のまちづくりのビジョンについて申し上げます。

私は、まちづくりの重点目標は「共生・協働の安心と活力と夢あふれるまちづくり」といたしました。「おもいやりのこころ」「学びあい」を大切に、「環境との調和」「あふれる活力」の創造を進め、街中には「安心」と「活力」と「笑顔」、そして、子どもに「夢」と「希望」がいっぱいあふれるほんべつの創造をめざします。



初登庁 9/25  
女性職員から花束を受け取り、6期目がスタート



8/28  
当選証書付与式  
町選挙管理委員会の小林信雄委員長が、当選証書を授与





# 本別町児童発達支援センター（通称：よつば）を

## 10月1日から開設します

町は、地域における療育体制の確立を図るため、10月1日から「本別町児童発達支援センター」（通称：よつば）を北5丁目旧中央保育所跡に開設します。近年、多様化し増え続ける療育ニーズに対応するため、本別中央小学校内に設置されていた「ことばの教室」を移行し、家庭や保育所・子ども園・学校、関係機関と協力し、児童らの健やかな成長と家庭での子育てを応援します。



安心して利用できる相談室



集中できる環境を整えた療育室



遊びながらコミュニケーション力を養うキッズルーム



運動機能の発達を促すプレイルーム

### 新たな療育体制への移行

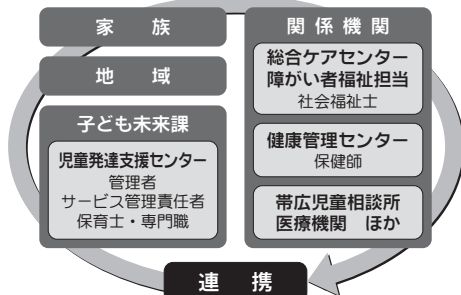
障害者自立支援法に規定する児童デイサービスは、平成24年の児童福祉法改正に伴い、障害児通所支援と位置づけられました。さらに、発達障害者支援法では、国および地方公共団体の責務として、発達障がいのある「早期発見のため必要な措置」や「継続的な相談」を行うことが定められています。

### 児童発達支援センターへ

平成2年開設の「幼児ことばの教室」では、発達に困り感やつまずきを抱える児童らに支援を行ってきましたが、児童福祉法の改正や、療育支援の必要な子どもの増加に伴い、新たな療育体制のニーズが高まりました。このため町では、施設を北5丁目の旧中央保育所跡に移設し、気軽に相談できる窓口として、児童発達支援センター事業を新たに開始。一人ひとりの持ち味、得意なこと、好きなことを尊重しながら、意欲的に学習や活動に参加できることを大切にして、子どものスムーズな社会参加を進めていきます。



家族や地域、総合ケアセンターなどの関係機関。そして、児童発達支援センターの4つが手を取り合っており、子供たちの健やかな成長を見守ります。



問い合わせ

児童発達支援センター 子ども未来課  
 ☎222-2195  
 ☎221-8130

### 私たちスタッフがサポートします



- 右から
- 同センター所長（管理者） 岡崎 修子
  - 同センター発達支援管理責任者 岩谷 美紀子
  - 同センター療育担当保育士 石川 智枝
  - 同センター療育担当保育士 柳野 千奈美

### 施設の名称・概要

名称 本別町児童発達支援センター  
 （通称：よつば）  
 住所 本別町北5丁目10番地8  
 （旧中央保育所跡）  
 開所日 月曜日・金曜日  
 土日祝日、年末年始は休み

### 利用対象

町内在住で18歳未満の発達に心配のある児童とその家族

### 利用に関する費用

無料。ただし、減免手続きが必要です

### 同センターの主な事業概要

- ◇相談窓口：月曜日・金曜日 午前9時30分～午後4時30分  
 巡回相談：帯広児童相談所の児童福祉司などが巡回
- 児童発達支援事業  
 就学前児童が通所し、日常生活における基本的動作の指導、集団生活への適応のための訓練を行うサービス
- 放課後等デイサービス事業  
 児童らが、放課後や夏休み等、生活能力向上のための訓練等を行うサービス
- 保育所等訪問事業  
 保護者の申し出により、同センター職員が子ども園、保育所および学校などを訪問し、集団生活に適応するための専門的な支援を行うサービス

功労者表彰 受賞者の皆さん（五十音順）



鈴木欣哉  
緑町 さん

昭和61年から現在まで通算25年以上の長きにわたり、本別町商工会理事、平成24年からは副会長として商工会の基盤確立、拡充強化に努められている。

さらに、ほんべつポイントカード協同組合の設立に尽力され、理事・副理事長・理事長を経て、現在監事を務められるなど、その人望と信頼により組織の発展に寄与。地域経済と商工の振興に努められ、全国商工会連合会会長表彰等を受賞された。

また、本別消防団第1分団に入団され、退団されるまでの33年以上の長きにわたり、地域の予防防および治安の維持に貢献された。

これらの活動に献身的に尽くされた功績は、広く尊敬に値するものであり、この活動を通じ本町の産業および行政の推進に寄与された功績は誠に顕著である。



荒木幸造  
美里別西上 さん

平成17年7月地域の信望を担い本別町農業委員会委員に就任、現在5期目を迎え長きにわたり、農作業の効率化と農地の集約化の観点に立った農用地の利用調整に努められ、さらには地域の相談役として地域農業の振興と農業者の地位向上に貢献されている。

この間、平成26年から現在まで、会長職務代理者として会長を補佐する立場で農地行政の適正な執行に努めるとともに、農業委員会の円滑な運営に尽力されている。

また、本別町PTA連合会会長、本別町農民間盟執行委員長、本別町森林組合代表理事組合長、美里別地区私設消防隊長を担われるなど、これら献身的に尽くされた功績は、広く尊敬に値するものであり、この活動を通じ本町農業の発展および本町行政の推進、振興に寄与された功績は誠に顕著である。



我妻勇次  
東本別 さん

昭和57年に本別町体育指導委員に委嘱されて以来、平成29年までの35年間の長きにわたり、スポーツの普及振興に意を注がれ、「健康・スポーツ推進の町宣言」制定にご尽力された。さらには生涯スポーツの重要性を訴えながら、スポーツ教室の指導や大会の企画・運営に、常に中心人物として活躍されている。

この間、現在も本別町体育協会会長、本別陸上クラブ会長、本別町スポーツ指導員など数多くの公職を歴任され、全国スポーツ推進委員功績者表彰などを受賞された。

また、本別町教育委員、本別高校の教育を考える会会長などの要職も歴任され、これら献身的に尽くされた功績は、広く尊敬に値するものであり、本町の教育、文化・スポーツの推進に寄与された功績は誠に顕著である。



前佛藤夫  
鳥籠 さん

平成7年に本別町民生委員児童委員に委嘱され、その使命を良く認識し、今日までの21年以上の長きにわたり、本別町民生委員児童委員として卓越した見識と旺盛な実践力により、保護家庭の指導援護活動および地域福祉の増進に意を注がれるなど、その献身的な努力は地域住民が等しく敬愛しているところである。

また、地域の実情に精通した適切な指導に努められ、誠意をもった援護活動を通して健全な地域社会づくりに貢献され、北海道社会福祉協議会会長表彰、全国民生委員児童委員連合会会長表彰などを受賞されている。

これらの地域福祉の向上および児童福祉の増進に尽くされた功績は、広く尊敬に値するものであり、この活動を通じ本町行政の推進に寄与された功績は誠に顕著である。

# 平成29年度 本別町開町記念式典

本別町開町記念の9月15日、開拓功労者謝恩祭が山手町頌徳碑前で、平成29年度開町記念式典が中央公民館で執り行われました。



受賞者を代表して謝辞を述べる我妻勇次さん



高橋正夫町長から賞状と記念品を授与される荒木幸造さん

## 開拓功労者謝恩祭



9月15日午前9時30分から山手町頌徳碑前で「開拓功労者謝恩祭」が開かれ、開拓功労者八翁をたたえ、ご冥福を祈念し、出席者全員が献花を捧げました。

- |     |     |    |    |     |    |     |     |         |
|-----|-----|----|----|-----|----|-----|-----|---------|
| 前田  | 荒出  | 井出 | 岡崎 | 幕内  | 新津 | 鈴木  | 東條  | 開拓功労者八翁 |
| 金四郎 | 深四郎 | 英作 | 公一 | 小太郎 | 繁松 | 勝太郎 | 儀三郎 |         |
| 翁   | 翁   | 翁  | 翁  | 翁   | 翁  | 翁   | 翁   |         |
| 翁   | 翁   | 翁  | 翁  | 翁   | 翁  | 翁   | 翁   |         |

式典には関係者約70人が出席し、町民憲章の朗唱、黙とうに続いて高橋正夫町長が「各方面から大きなお力添えを賜り、本年度で開町百十六年を迎えました。本年4月には幼保連携型認定こども園が開園し、保育・教育環境の充実により、福祉でまちづくりがさらに幅を広げ、幼少期から老年期までの人々が充実した生活を送ることのできる環境を整備されてきています。この整備を本町が大きく発展していく機会と捉え、まちづくりは人づくりの理念のもと、さらに発展した協働のまちづくりを実践していきます。

ます。これからも、先人より受け継いだ不屈の開拓者精神を遺憾なく発揮し歩み続ける所存であり、す」と式辞を述べ、永年にわたり町発展のために尽力された4人の功績者を表彰しました。引き続き方川一朗町議会議長が祝辞を贈り、受賞者を代表して我妻勇次さんが「スポーツを通じたまちづくりにも少しも貢献できたのは、多くの皆さんのご支援のおかげ。これからもおのの立場で、本別町のまちづくりのために努力してまいります」と謝辞を述べました。



# 本高・進路Quest クエスト



美容師・エステ系

トリマー・動物看護師系

デザイン・ファッション系

調理師・パティシエ系

IT・情報系

本別高等学校（佐藤渉校長、117人）主催の進路イベント「本高・進路Quest（クエスト）」が8月30日、同校で開催され、職業別体験授業や学校別進路ガイダンスなどが行われました。

## 初めての開催に、大学・短期大学や専門学校72校などが参加

同イベントは、本別高校の1～2年生70人や生徒の保護者、町内中学生の保護者などを対象に初めて開催され、十勝管内の高校でも前例のない取り組み。午前中は職業別に模擬体験授業が行われ、生徒らは、調理師や美容師、看護師、トリマーなど13の職業系から、興味のある教室に分かれ、大学・専門学校等の講師から授業を受けました。

午後からは、学校別の進学ガイダンスが同校体育館で行われ、参加した大学・短期大学や専門学校など72校2官公庁の担当者が、それぞれのブースで各校の取り組みや特色を資料など配布しながら説明。生徒や保護者らは興味のあるブースを訪れ、質問をするなどして積極的に情報を収集しました。同校生徒からは、「実際に担当者と話ことができ、目標が具体化された」などの声が聞かれました。また、夕方には進学マネー講座が行われ、保護者らは大学などの進学に掛かる具体的な費用や奨学金制度などについて理解を深めました。



真剣なまなざしで説明を聞く生徒

保護者も参加

学校別進学ガイダンス

## 地域おこし協力隊が行く



Part2 横山 泰平 移住定住推進員

町の魅力や情報、都会の人に伝えます！  
「地域おこし協力隊」で移住定住推進員の横山泰平です。移住に関心のある都会の人に本別町の魅力を伝え、本別町で実際にためし生活をしてもらい、町の人口増加につながるよう活動します。移住希望者はもちろん、町内関係者からも頼られるアドバイザーになれるよう頑張ります。

本別町では、今年7月に初めて地域おこし協力隊として、2人の支援員が着任しました。先月に引き続き、地域おこし協力隊の活動を紹介します。

横山推進員は本別町出身で、札幌の専門学校では経理を学び、帯広の小売店に就職。食品販売担当として接客の仕事をして11年以上経験しましたが、地元・本別のために何かできることはないかと町の地域おこし協力隊に応募し、現在、企画振興課内に勤務しています。これから推進員として、町内の住宅情報や仕事情報の収集、ホームページでの発信、移住フェアでの相談対応、および移住体験者や移住希望者へのサポートなどの活動を行います。

### 本別町の移住定住対策

**移住フェアでのPR**

首都圏等で本別町の魅力や仕事・住宅の情報を伝える

**移住体験者の受け入れ**

おためし住宅や移住体験メニューの提供、相談などのサポート

**こんな仕事をしています！**

**町内の情報を収集・発信、他町との連携**

**近隣町の移住担当者で情報交換**

**住まいや仕事の情報を収集**

**情報をホームページで発信**

**問合わせ**

企画振興課 地方創生推進室  
〒222-8121  
とちぎ東北移住サポートセンター  
03-0001-  
ホームーン: <http://www.akinavi.net/>

### とちぎ東北3町の連携

本別町では足寄町、陸別町と連携して、首都圏等から地方への新しい人の流れをつくり出すため、移住等希望者からの相談や受け入れなど、必要なサポートを行う「とちぎ東北移住サポートセンター」を平成28年7月に開設しました。同センターは本別町役場企画振興課内に事務所を置き、移住に関する総合的なサポートを行っています。

また、首都圏でのプロモーションを行うため、東京都有楽町にある「ふるさと帰郷支援センター」に専用ブースを設置して町の情報を提供するとともに、移住セミナーの開催や、道内の市町村が一堂に出展する移住フェアで、来場者に気候や暮らし方を説明し、町の魅力をPRしています。

全国的に移住対策の取り組みが行われている中、いかに本別町の魅力を伝え、移住につながるかが課題ではありますが、今後は「地域おこし協力隊員」とともに、ホームページなどを活用して町の情報発信を強化し、おためし住宅での移住体験プログラムの実施など、移住・定住希望者の受け入れを積極的に進めていきます。



成人式

ふるさと給食

義経の里スポーツフェスティバル



芥川賞作家の出勤授業

オーストラリア・ミッチェル訪問

ほんべつ学びの日フェスティバル

本別町教育委員会  
(平成29年3月31日現在)

職名	氏名	職業等
教育長	中野博文	
教育長職務代理人	水谷令子	主婦
教育委員	布施耕一	農業
教育委員	鈴木清志	非常勤職員
教育委員	丑若理恵	農業

この報告書は、町議会に提出することにも広く町民の皆さんに公表し、次年度以降において更なる事務改善を図りながら効果的な教育行政執行に努めてまいります。

「平成28年度本別町教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書」を作成しました。これは、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づき、学識経験

# 教育行政の進むべき方向性

平成28年度教育委員会活動状況点検・評価報告書(抜粋)  
平成28年度教育委員会の活動状況  
教育委員会会議の開催状況  
(1) 毎月1回の定例会議および臨時会議  
合計13回(14件の議案を議決)  
※うち移動教育委員会会議は、町内小中学校で計3回開催

法規・規則等の制定および改正状況  
(1) 教育委員会関係  
条例の廃止1件 規則の改正1件  
規則の廃止1件 要綱の改正1件  
要綱の制定1件 要綱の制定1件

教育委員の活動状況  
(1) 教育委員会関係事業 計16日・延べ45人  
(2) 各学校関係各種事業 計12日・延べ21人  
各審議会等審議概況  
(1) 社会教育委員会 6回  
(2) スポーツ推進委員会 4回  
(3) 文化賞審議会 1回  
(4) スポーツ賞審議会 1回  
(5) 学校給食運営委員会 1回

教育費予算の状況  
平成28年度の一般会計教育費の最終予算額(人件費等含む)は8億4740万9000円で、一般会計予算総額に占める割合は10・7%となっています。

自己点検評価  
毎月定例で開催している教育委員会会議は、教育委員会が抱える課題と現状を把握しつつ、教育行政推進の方向性や施策の構築に向けた審議を行い、実質的な教育行政の決定機関としての機能充実に努めています。

教育行政の推進については、本町が進める生涯学習によるまちづくりの観点から、「ほんべつ学びの日」の普及啓発に努め、教育が未来を担う人材を育成する基盤であるとの認識に立ち、関係部局や関係機関・団体と連携を図りながら、幼児から高齢者まで幅広い取り組みとなるよう努めています。

今後の方向性  
教育の政治的中立性、継続性・安定性の確保については、中立法が極めて重要なことから従前からの合議制を堅持しつつ、一貫した方針の下で執行機関のチェック機能を高めるとともに、広く地域住民の意向を反映した取り組みを推進してまいります。  
ほんべつ学びの日の取り組みについては、「ほんべつ学びフェスタ」を通して学びの関心を高めるとともに、家庭・学校・地域と連携して四つの風「光風・祈風・夢風・実風」事業を展開してまいります。  
また、新たな取り組みとして、英語を本町の学びの軸に位置付け、誰もが気軽に参加できる英語学習の場を設定してまいります。

「平成28年度本別町教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書」の全文については、本別町公式ホームページでご覧いただけます。  
<http://www.town.honbetsu.hokkaido.jp/public/>

問い合わせ  
教育委員会管理課総務担当  
0222-23331

## 国民年金

国民年金保険料の免除期間・納付猶予期間がある人へ

追納できる期間  
過去10年以内に国民年金保険料を免除(全額免除・一部免除、法定免除、納付猶予、学生納付特例を受けた期間)が対象です。  
申込方法  
年金手帳または基礎年金番号のわかるもの、印鑑をお持ちになり、住民課戸籍年金担当または帯広年金事務所まで手続してください。  
申し込みをすくと、年金機構から納付書が郵送されますので、最寄りの金融機関等で納付してください。

その186



注意事項  
追納を承認された期間のうち、原則古い期間から納めることとなります。  
平成26年度以前の保険料には、当時の保険料に一定の加算額が上乘せられます。  
一部免除期間は、残りの納付すべき保険料を納付していない場合、追納できません。  
既に高齢基礎年金を受け取っている人は、追納することができません。

参考  
平成30年3月31日までに追納する場合の保険料額  
※全額免除のみ掲載しています(月額額。平成27年度、28年度は、加算額がありません)

追納額	追納額
平成19年度	15,040円
平成20年度	15,160円
平成21年度	15,250円
平成22年度	15,510円
平成23年度	15,290円
平成24年度	15,140円
平成25年度	15,120円
平成26年度	15,270円
平成27年度	15,590円
平成28年度	16,260円

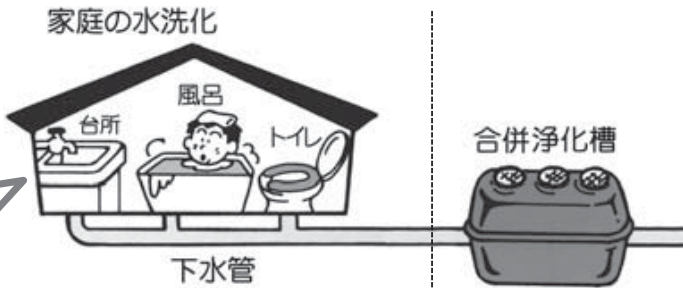
詳しくは  
住民課戸籍年金担当  
0222-81288  
帯広年金事務所  
0155-2518-113  
日本年金機構のホームページ  
<http://www.nenkin.go.jp/>



# 本別町全域(本別市街地の公共下水道区域を除く)で合併浄化槽が設置されるおまかせ



## 個別排水処理施設の仕組みと



### 排水設備 (個人設置・個人管理)

家庭の水洗化の費用は個人負担です

◎ 排水設備工事費  
… 約60万円～80万円

(トイレの改造、給水、屋外排水管などの工事で、家の間取り、便器の種類などにより異なります)

排水設備工事の融資制度  
(住宅1戸につき便器2基まで)

区分	金額	適用
融資制度	60万円以内 (便器1基につき)	月1万円の均等償還 (無利子)

新築の場合は該当となりません



## 受益者が負担する金額



### 個別排水処理施設 (町設置・町管理)

◎ 設置時  
受益者分担金

- ※10人槽までは100,000円
- ※11人槽以上は、1人槽増すごとに15,000円を100,000円に加算した額となります  
(翌年度から年4期、5年分割の20回払い)

◎ 設置後

● 使用料(毎月)

5人槽	… 3,183円
7人槽	… 3,982円
10人槽	… 5,163円
11人槽以上	… 10人槽の料金に1人槽増すごとに432円を加算した額

浄化槽の  
汲み取り・点検は  
町で行います

- 電気料(毎月) …… 約800円～1,800円  
(5人槽～10人槽の場合)  
浄化槽内のばつ気のためのもので浄化槽の規模により異なります

平成30年度に設置を希望する人は、平成29年11月末日までにお申し込みください

平成11年度から農村部に合併浄化槽を設置する事業を実施してきましたが、平成17年度から農村部に加え、勇足元町・仙美里元町・上本別地区も設置できるようになり実施しております。トイレの水洗化によって、より快適な生活環境を目指すほか、家庭から出る生活排水を浄化して公共用水域の水質の汚れやにりを防止するのが目的で、合併浄化槽は個人下水道とも呼べる恒久的な施設です。合併浄化槽が設置できる地域は、本別市街地の公共下水道区域を除く本別町全域で、これよりすべての町民(公共下水道区域の未整備区域を除く)がトイレの水洗化および生活排水の処理が可能になります。



お申し込み  
お問い合わせは  
建設水道課  
水道・下水道担当  
☎22-8122

③ その他の手当（普通会計）

（平成29年4月1日現在）

手当名	内容および支給単価	国の制度との異同	国の制度と異なる内容	支給実績 (平成28年度決算)	支給職員1人当たり 平均支給年額 (平成28年度決算)
扶養手当	配偶者 10,000円、子1人につき 8,000円 父母等1人につき 6,500円 配偶者がいない場合は子1人目のみ 10,000円 配偶者・子がない場合は父母等1人目のみ 9,000円 満16才の年度初めから満22才の年度末までの子1人につき 5,000円加算	同じ		12,541千円	212,559円
住居手当	〔借家〕月額16,000円以下の家賃→家賃の月額-5,500円 月額16,000円を超える家賃→ （家賃の月額-16,000円）の2分の1（2分の1 限度額9,500円）に10,500円を加算 〔持家〕月額15,000円以内（新築10年間2,000円加算） 新築20年経過以降 月額10,000円以内	異なる	〔借家〕 借家限度額 27,000円 〔持家〕 なし	17,776千円	187,116円
通勤手当	〔交通機関利用〕月額限度額 50,000円 〔交通用具利用〕片道5km未満 2,000円 5km以上～10km未満 4,200円 10km以上～15km未満 7,100円 15km以上～20km未満 10,000円 20km以上 12,900円	異なる	〔交通機関利用〕 55,000円 〔交通用具利用〕 20km以上60kmま で5km刻みで支 給額を設定	1,741千円	52,758円
管理職手当	13% 院長、副院長、医長 13% 課長、室長、事務局長 12% 主幹 10% 課長補佐、次長	異なる	課長 職定額 課長補佐 職定額	13,047千円	465,964円
夜勤手当	25%増し	同じ		229千円	57,250円
宿日直手当	1回 4,200円	同じ		1,772千円	28,127円
寒冷地手当	〔世帯主〕扶養親族のある職員 131,900円 扶養親族のない職員 72,900円 〔その他の職員〕 51,700円	同じ		12,130千円	94,031円

◆ 特別職等の報酬等の状況

（平成29年4月1日現在）

区 分	給料または報酬の月額	期末手当の支給割合
給 料	町 長 747,000円	6月 2.025月分
	副 町 長 616,000円	12月 2.175月分 合計4.20月分
	教 育 長 562,000円	加算措置：当分の間支給停止
報 酬	議 長 292,000円	6月 2.025月分
	副 議 長 230,000円	12月 2.175月分 合計4.20月分
	議 員 185,000円	加算措置：当分の間支給停止

◆ 職員の分限及び懲戒処分等の状況

職員の懲戒の件数（平成28年度）

処 分 事 由	地方公務員法	戒告	減給	停職	免職	合計
法令に違反した場合	第29条第1項第1号	0	0	0	0	0
職務上の義務に違反し、又は職務を怠った場合	第29条第1項第2号	0	0	0	0	0
全体の奉仕者たるにふさわしくない非行のあった場合	第29条第1項第3号	0	0	0	0	0
合 計		0	0	0	0	0

（注）職員のうち地方公務員法に基づき懲戒処分に付された職員の状況であり、当該年度において同一の職員が複数回にわたって懲戒処分に付された場合は、重複して計上している。

問い合わせ 総務課庶務担当 ☎22-8120

公平性・透明性を目指して

町のホームページ <http://www.town.honbetsu.hokkaido.jp/> でもご覧いただけます

本別町職員の人事行政の運営等の状況を公表します

公務員制度の公平性、透明性の確保などを目的に給与等の状況のほか人事行政の運営等、各市町村の制度がどのようになっているかを公表することが地方公務員法で義務付けられています。

町民の皆さんに町職員の給与などの概要をお知らせいたします。

◆ 一般行政職の平均給料月額、平均年齢の状況

一般行政職（平成29年4月1日現在）

区 分	平均給料月額	平均年齢
大学卒	282,000円	37.2歳
短大卒	339,900円	45.8歳
高校卒	309,100円	41.6歳
中学卒	361,200円	48.3歳
再任用	280,800円	60.7歳
全平均	304,300円	41.3歳

（注）「平均給料月額」とは、平成29年4月1日現在における各職種ごとの基本給の平均である。

◆ 一般行政職の職級別職員数

（平成29年4月1日現在）

区分	標準的な職務内容	職員数	構成比	前年度（平成28年4月1日現在）	
				職員数	構成比
1級	主事、技師、主事補、技術補	28人	25.9%	24人	22.2%
2級	主事、技師	2人	1.9%	4人	3.7%
3級	主査、副主査、主任	21人	19.5%	20人	18.5%
4級	課長補佐、次長、主査、副主査	32人	29.6%	34人	31.5%
5級	課長、室長、課長補佐、次長	13人	12.0%	14人	13.0%
6級	課長、室長、事務長、事務局長	12人	11.1%	12人	11.1%
合 計		108人	100.0%	108人	100.0%

（注）本別町の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数である。  
標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務である。  
平成19年度から6級制に移行している。

◆ 職員の初任給の状況

（平成29年4月1日現在）

区 分	本 別 町		国		
	初 任 給	2年後の給料	初 任 給	2年後の給料	
一般行政職	大学卒	178,200円	191,700円	178,200円	191,700円
	高校卒	146,100円	155,800円	146,100円	155,800円

◆ 職員に対する手当の状況

① 期末手当・勤勉手当

	本 別 町		国	
	期末手当	勤勉手当	期末手当	勤勉手当
1人当たり平均支給額 (平成28年度)	1,488千円	-		
平成28年度支給割合	2.60月分 (1.45)月分	1.70月分 (0.80)月分	2.60月分 (1.45)月分	1.70月分 (0.80)月分
加算措置の状況	職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5%～15%		職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5～20% ・管理職加算10～25%	

（注）（ ）内は、再任用職員に係る支給割合である。

② 退職手当

（平成29年4月1日現在）

支給率	本 別 町		国	
	自己都合	勤奨・定年	自己都合	応募認定・定年
勤続20年	20.445月分	25.5563月分	20.445月分	25.5563月分
勤続25年	29.145月分	34.5825月分	29.145月分	34.5825月分
勤続35年	41.325月分	49.59月分	41.325月分	49.59月分
最高限度額	49.59月分	49.59月分	49.59月分	49.59月分
その他の加算措置	定年前早期退職特例措置（3%～45%）		定年前早期退職特例措置（3%～45%）	
1人当たり平均支給額	10,777千円			

（注）退職手当1人当たりの平均支給額は、前年度に退職した全職種の職員に支給された平均額である。





東十勝花火大会 6,000発の迫力!



花火点火セレモニー



お笑いライブ 2丁拳銃



フリークライミング



ふわふわランド



よさこい恵庭紅鴉

本別町出身の岡崎慎さんと志戸田康代さん



ボニーばんぼレース



豆はこび〜んず



本別高校吹奏楽部演奏



歌謡ショー 城之内早苗

# 第21回本別きらめき タウンフェスティバル 2017



歌謡ショー LINDBERG 渡瀬マキ



好天のもと、家族連れなど2日間で約35,000人が来場

**来場者約3万5000人が  
初秋のほんべつを満喫**

今年で21回目を迎えた、本別最大のイベント「本別きらめきタウンフェスティバル2017（実行委員会主催）」が9月2日、3日の2日間、利別川河川敷地特設会場で開催されました。

## 本別きらめきタウンフェスティバル2017終了御礼

9月2日・3日の両日、利別川河川敷地特設会場で開催いたしました第21回本別きらめきタウンフェスティバル2017には、十勝管内をはじめ、道内外から大変多くの皆様にご来場いただき、誠にありがとうございました。台風の前報で開催が心配されましたが、おかげさまで当日は天候にも恵まれ、2日間で約35,000人にご来場いただき、大盛況にて終えることができました。イベントにご理解、ご協力賜りました多くの企業、団体、協賛各社と会場周辺の町内会、住民の皆様に変更して心より感謝を申し上げ、終了のあいさつといたします。

本別きらめきタウンフェスティバル実行委員会 会長 野田 仁



地域貢献活動

野田組（野田仁社長）が駐車場区画割り作業を行いました。

開催当日、心配されていた台風は遠ざかり、少し肌寒かったものの、2日間とも好天に恵まれました。

会場では地元食材を使ったうまいもの市や友好都市徳島県小松島市物産市、包括交流連携協定を結ぶ白糠町物産市など、わくさんの出店がずらりと並び賑わいを見せたほか、1日目は、秋の夜空に6000発の花火が大輪を咲かせた東十勝花火大会、2日目には、ボニーばんぼレースや戦隊ショー、城之内早苗さんやLINDBERG渡瀬マキさんらが出演した歌謡ショーなど多彩な催しで来場者を楽しませました。また、子供たちに人気のふわふわランドやフリークライミング、イベントの最後に豪華景品の当たるお楽しみ抽選会なども2日を通して行われ、町内でもとより、十勝管内外から多くの家族連れや友人同士などが訪れ、たくさんのお客様を楽しみました。



## おもしろ・かんたん 英語を楽しもう！

8 25

今年2回目となる放課後英語教室（町教育委員会主催）が8月25日、本別中央小学校で行われました。同教室は、小学校低学年から英語に親んでもらうことを目的に、町内の小学校で各3回開かれ、この日は同校1～2年生の児童20人が参加。NPO教育支援協会北海道の榎本尚世さんの指導のもと、授業はすべて英語で進行し、音楽に合わせて体を動かしたり、花いちもんめやビンゴなどのゲームをしたりして、体感的に英語を楽しみました。



## 老人ホームの窓が きれいに

8 26

十勝地区郵便局長会十勝東部会（部会長＝松井隆豊頃郵便局長）による、清掃ボランティアが8月26日、町老人ホームで行われました。同部会は本別・浦幌・豊頃町の全11郵便局で組織し、例年三町輪番で地域貢献活動を実施。各郵便局長とその家族など19人で外回りの窓拭きを行い、施設が大変きれいになりました。



## 仙美里地区、 勇足地区で盆踊り

8 17・20

旧仙美里中学校施設等を活用する仙美里プロジェクト（朝日基光代表）が主催する盆踊りが8月17日、同校グラウンドで行われました。仙美里地区ではやぐらを組んで行う本格的な盆踊りは、30年以上行われていませんでしたが、同プロジェクトでは地域活性化の一環として復活を計画し、実行委員会を組織。ミニビアガーデンでは焼き鳥などが、また、駄菓子などの緑日が用意されました。当日は、仙美里地区内外から集まった子どもから大人まで約200人が踊り、終了後にはビンゴ大会も行われるなど、会場は大いに盛り上がりました。

また、勇足辰年会（武田有功会長）主催の第30回盆踊り大会が8月20日、勇足地区公民館前広場で開催されました。地域の幼児や児童が参加する子ども盆踊りに続き、花火大会、一般の盆踊りが実施され、約300人が参加。地域関係者の協力で焼き鳥やいももち、法兰克福なども出店されました。お楽しみ抽選会では30回の節目を記念して豪華景品も用意され、参加者らは短い夏をにぎやかに送りました。



仙美里地区 盆踊り



勇足地区 盆踊り大会

## 勇足中学校教育目標

- (知) 創造性豊かで高い知性を養う
- (徳) 豊かな人間性を育てる
- (体) 強靭で粘り強い体を鍛える

各学校の手作りページ

# HELLO 勇足中学校

本年度も生徒一人ひとりの瞳が輝き、地域に信頼される学校を目指し、地域・保護者の方々のご協力をいただきながら、小規模校の特性を生かした授業や学校行事等、日々の教育活動に取り組んでいます。

### 出張授業 ～服のチカラプロジェクト～



服のリサイクルから社会貢献を学ぶ

### 軍馬慰霊碑見学～7月15日展～



資料館友の会の語りべの話に聴き入る

### 本別高校との授業交流



高校教師からの直接指導は新鮮な経験

### 租税教室



内田勇介税理士が世界の税金を紹介

地域とともに歩む学校  
笑顔でチャレンジ

### 花壇整備



勇足老人クラブ会員と花苗植え

### 新体力テスト



勇足小学校児童と一緒に体力測定

### 不審者対応



本別警察署員による護身術指導

### 食育授業



JA美帯青年部の協力で作物7種を栽培



## ほんべつ自慢の味覚をPR 9 8~12 9 9・10

本別町観光協会や町内の団体等が道内のイベントに出店し、本別町の味覚をPRしました。札幌オータムフェスト2017第1期（札幌大通公園、9月8日～12日）ではキレイマメ味噌を使用した豚丼と豚まん、カミングパラダイス（白糠町、9月9日・10日）ではスイートコーンなどの野菜や豆加工品などを販売。本別町の出店ブースは大変にぎわいました。



オータムフェスト



カミングパラダイス

## 懐かしのメロディーに酔いしれる 9 5

本別ゆかりの作詞家・吉川静夫の生誕110年を記念した歴史民俗資料館ミニ展示の関連事業「懐かしのSP・EPレコードコンサート」（歴史民俗資料館友の会主催）が9月5日、同資料館で行われました。本別町歌や本別小唄などの作詞を手掛け、町内美蘭別で教員生活を送った後、上京して昭和歌謡の代表的な作詞家となった吉川静夫をしのび、コンサートでは、同資料館友の会白石聖二さんが吉川のプロフィールや詩に込められた思い、時代背景を解説。資料館所蔵の4台の蓄音機を使いながら、懐かしいメロディーが館内に流れると、町内外から訪れた41人の来場者が、手拍子を合わせてリズムにのるなど、全17曲の音色に酔いしれました。



## 親子で過ごす楽しい時間 9 9

家庭教育支援事業「なかよし」による就学前の子どもを持つ親子を対象とした子育て支援センターまつりが9月9日、同センターで行われました。認定子ども園に移転してから初めての開催で、いすやつみきなど手作りおもちゃの販売や、町内の子育てママが出演するアクセサリーなどのハンドメイドショップが並び、参加者は買い物も満喫。お菓子くじなどの出店、読み聞かせや人形劇などの公演もあり、来場した約150人の親子らは楽しい時間を過ごしました。



## 飲酒運転根絶を誓う 9 6

公益社団法人北海道交通安全推進委員会主催による飲酒運転根絶キャラバン隊が9月6日、本別町を訪れました。同隊は、道民一人ひとりに「飲酒運転をしない、させない、許さない」を広く定着させることを目的に、平成28年度から3年間をかけて全道市町村を巡回。本別警察署前駐車場で行われたセレモニーでは、同協議会の加門清事務局長のあいさつの後、町住民課竹島義児主任が飲酒運転根絶道民宣言を力強く朗読しました。最後は、本別警察署パトカーの先導のもと、足寄町に向かって同隊の車両が出発し、通行車両や住民に向けて飲酒運転の根絶が呼び掛けられました。



## 交通事故に気をつけて 9 4

勇足小学校（濱田和光校長、39人）交通安全キャンペーンが9月4日、同校周辺で行われました。児童らは、道行くドライバーへ「交通事故に気をつけてください」などと述べながら、手作りのメッセージカードやお茶など20セットを手渡し、安全運転を呼び掛けました。



## 柏木町住民が防災意識を高める 9 5

柏木町自治会（澤田満会長）の避難訓練が9月5日、本別生活館広場で行われました。今年は震度5強の地震を想定した訓練で、屋外拡声器と広報車巡回により訓練開始の合図が放送されると、住民は火の始末やガスの元栓閉めを確認してから、徒歩で会場に集合。各班長から避難者の人数確認や避難困難者等の安否確認が報告されました。役場担当者の講評後、消防職員の指導により消火訓練が行われたほか、会場では災害写真のパネルが展示されるなど、約60人の参加者は防災について意識を高める一日になりました。



## シカぶえで動物の生態を学ぶ 8 27

町教育委員会が主催する「図書館でキッズはかせになれる！～シカぶえを作ろう！ならそう！」が8月27日、帯広市の百年記念館で行われました。参加した小学生11人は、学芸員からアイヌの人々がどのようにシカ狩りをしたのか、クイズや映像を交えた説明を受けた後、身の回りにある材料で「シカぶえ」を制作。その後おびひろ動物園に移動し、担当獣医師とともに、エゾシカの檻の前で実際にシカぶえを鳴らしてみると、多くのシカがキョロキョロしながら近くに集まり、実験は大成功。児童らは、アイヌ民族と自然の関わりや動物の生態などを知ることができ、楽しいバス学習となりました。



## 老人ホーム職員から介護技術を学ぶ 8 28

町老人ホームの出前講座が8月28日、南地区集会場で開催され、南1丁目自治会（北谷和雄会長）から18人が参加しました。同講座は、介護福祉士などの資格を持つ同ホーム職員の知識と技術を有効活用し、「介護」を通じて地域交流を図るもの。参加者は認知症ケアについて講義を受けた後、車椅子の使い方、ベッドから車椅子への移乗方法など、職員から実技を交えて指導を受け、また、介護に関する地域や家庭での悩みを相談するなど、相互交流を図りました。



## ミニライブを聴かナイト

9 15

第42回夜でかけナイト（実行委員会主催）が9月15日、銀河通り・大通り商店街で開かれました。時折、小雨のばらつくなかでの開催となりましたが、テントのなかでは野菜の詰め放題、ジャンボ輪投げゲームなどの催しを実施。商工会青年部は秋の味覚祭りとして山の幸、海の幸を提供し、仕事帰りのサラリーマンなどでにぎわいました。アースホール前ではミニライブが行われ、フルートやオカリナ、ギター、パーカッションの音色で、クラシックやポップス、演歌など幅広いレパートリーでの演奏を披露し、家族連れなどの来場者を楽しませました。



## 歌声やダンスに拍手

9 14

仙明カラオケ同好会（川東義一会長）主催による第17回カラオケと芸能の夕べが9月14日、仙美里地区公民館で行われました。発表には、同会の会員や地域の施設職員など22個人3団体が出演。自慢の歌声や華やかなダンス、寸劇などが次々と展開され、約100人の観客席から、大きな拍手が送られました。



## 乳製品で生涯骨太に

9 15

生涯骨太クッキングと題した料理講習会（食生活改善推進員協議会主催）が9月15日、健康管理センターで開催されました。カルシウムを多く含む乳製品を料理に取り入れ、家庭の健康づくりに役立ててもらおうと、同協議会会長の小泉優子さんから3人が講師となり、町内の主婦など17人が参加。切干大根のミルク煮、チキン南蛮など4品を調理し、最後は全員で試食しながら、牛乳やヨーグルトを普段の料理に生かすコツを学びました。



## お祭りで家族とふれあい

9 10

町老人ホームのふれあい祭りが9月10日、施設前駐車場で開かれました。会場では職員手作りのカレーライスや焼きそば、おしるこなどが振る舞われたほか、ダンスや義経太鼓、吹奏楽部の演奏、健康体操などが行われ、入所者やその家族、関係者など約250人の来場者は楽しいひとときを過ごしました。



## 「ばけもの」にびっくり

9 12

本別中央小学校地域参観日に合わせた芸術鑑賞会（本別町学校教育振興会主催）が9月12日、同校体育館で開催され、町内3小学校の児童と保護者など計約320人が、古典芸能に触れました。公演は、人形劇団ボポロによる「ねずみの空とび」「南京玉すだれ」の2つの大道芸と、落語をもとにした「ばけものづかい」の人形劇。児童らは、ステージで繰り上げられる芸や、大きな人形の動きにびっくりしたり笑い声を上げるなど、普段見る機会の少ない軽快なステージを楽しみました。



## ボルダリングに挑戦!

9 9

町教育委員会主催のあかげら少年団が9月9日、旧仙美里中学校体育館で開催されました。前期最終回のこの日、8人の団員はボルダリングに初挑戦。施設を活用している仙美里プロジェクトの指導者が、難易度の異なる2面で10本の課題を提示すると、団員は何度もチャレンジし、難コースをクリアするたびに、他の団員から歓声が上がりました。団員のなかには課題を9本クリアした児童もあり、皆で試行錯誤しながら、夢中になって楽しみました。



## 地域と楽しむ夏祭り

9 9

清流の里・あいの里交流センターによる地域交流夏祭りが9月9日、同施設駐車場で開催されました。参加した同施設利用者とその家族、清流町自治会員など120人は、焼き鳥やフランクフルト、そうめん、かき氷などの食べ物・飲み物コーナーを満喫。輪投げや金魚すくいなどのゲームコーナーやフリーマーケットなどの催し物で楽しんだほか、道内で活動している歌手「Mokkun」のミニコンサートで盛り上がり、にぎやかなひとときを過ごしました。



## 自治大学へ派遣研修

町教育委員会管理課山岡裕副主査（40）が10月11日から12月22日までの期間、研修のため自治大学校（東京都）へ派遣されます。研修では、法律や政策などの行政執行に必要な知識を学びます。





# みんなの健康

398

最近はやりの言葉として、「総合診療」、「プライマリ・ケア」、「家庭医療」、「かかりつけ医」などがあります。皆さんも、テレビで「総合診療医ドクターG」や「主治医が見つかる診療所」などといった番組で聞いたことが

## 総合診療ってなに？

あるのではないかと思います。「総合診療」とは、患者さんを全人的にとらえ、特定の臓器・疾患に限定せず多角的に診療をおこなうことです。「プライマリ・ケア」とは、住民が多様な健康上のニーズに対応できるように、おもによく遭遇する疾患（よくある病気、例えば高血圧症、変形性膝関節症など）の診療を行うことです。「家庭医療」とは、特定の臓器・疾患や患者さんの性別・年齢にとらわれず、患者さんや住民の健康問題を幅広く担当することです。

「かかりつけ医」とは、健康問題でなんでも相談できる上、最新の医療情報を熟知して、必要時には専門医や専門医療機関に紹介でき、身近で頼りになる地域医療、保健、福祉を担う総合的な能力を有する医師のことです。いずれも言葉や定義は若干異なることはありますが、要は健康問題があった場合に「まずは何でも診ます。特によくある病気やけがは得意です。でも専門の先生に相談しなければいけない」と



本別町国民健康保険病院 医長 武田 真一

きにはちゃんと紹介します」といった姿勢で、年齢や性別に関わらず、まずはなんでも診療する医師と理解していただければと思います。  
※「総合診療」について、10月11月号の2回にわたって掲載します



# 銀河ホップタウン

## 足寄町

### 第12回道の駅祭り

第16回大収穫祭・秋の物産市  
あしよる銀河ホール21を会場に、フリーマーケットのほか足寄町の農産物や特産品を販売し、地元の味覚をPRします。

日時 10月22日(日) 午前9時～

会場所 あしよる銀河ホール21前  
お問い合わせ あしよる観光協会  
☎2516131

## 陸別町

### 第56回 陸別町文化祭

町民による絵画、写真、書道、手芸などの作品や芸能発表をお楽しみください。皆さんのご来場をお待ちしております。

○展示部門 (タウンホール)  
10月28日(土)～11月4日(土)  
午前9時～午後6時



### ○行事部門

・陶芸ボランティアサークル (後場1Fロビー)  
11月4日(土)午前9時～午後4時  
・婦人会ボランティアバザール (保健センター多目的室)  
11月4日(土)午前11時～午後2時  
○芸能発表会 (タウンホール)  
11月5日(日)  
午後1時～午後3時30分  
お問い合わせ 陸別町教育委員会  
☎2712123



# 未来に輝く子どもたち

本別町の未来を担うかわいい星たちです。  
お父さん、お母さんのたくさんの愛に囲まれてぐっすり元気に育つこね！



山手町 田 稜 (燕代)



※写真は本人に解を得た上で掲載しています

## 仙美里プロジェクトが新事業スタート

旧仙美里中学校施設等を活用する仙美里プロジェクト(朝日基光代表)では、次の通り新事業を開始しました。興味のある人はお問い合わせください。

### ☆マイクと歌おう！英語カラオケ教室☆

町国際交流協会と共催で、ミッチェルからやってきたマイクさんと一緒に英語カラオケ教室を開催します。本場の英語に触れながら、みんなで楽しく歌いましょう！

●日時 10月5日～11月9日の毎週木曜日  
午後7時～午後8時30分  
●参加料 1回 500円

### ☆学習塾と個別指導の仙美里学習教室☆

小中学生を対象とした仙美里学習教室が開校しました。詳しくはお問い合わせください。

●指導者 松本佳久さん(三重県出身)  
神奈川工科大学卒。三重県内の個別教室で指導実績あり。1年間の移住体験として、平成29年8月から本別町内で暮らしています。

◆問い合わせ ☎090-8277-2199 (朝日代表)

## Welcome to HONBETSU! Hello MIKE! ハローマイク!

町の姉妹都市であるオーストラリアのミッチェルから、マイケル・フィリップスさんが9月20日に来町されました。11月15日まで本別町に滞在し、英語教室などで町民の皆さんとの交流を深めます。マイクさんを見かけたら気軽に声を掛けてくださいね！



## ご寄付ありがとうございます 平成29年8月16日から9月15日

次の通りご寄付をいただきました。紙上を借りて厚くお礼申し上げます。(敬称略)  
★本別町特別養護老人ホーム物品等購入費  
金20,000円……………西仙美里 堀内好範

★台風被害等に伴う災害見舞金  
金7,214円……………ほんべつ肉まつり実行委員会  
★本別消防署指定  
ウエス100枚…新町長寿クラブ 会長 木村 功  
個性あるふるさとづくり寄付条例による寄付  
計金2,040,000円……………148人

# 本のある暮らし 199

## 戸籍のまど

### お誕生

8月後半から  
9月前半の  
届出分

奥野 心遥<sup>こほろちん</sup> 耕平<sup>こうへい</sup> 千智<sup>ちぢ</sup> 8/20 清流町

大島 義堯<sup>よしひさ</sup> 義則<sup>よしのり</sup> 9/4 勇足東4

### おくやみ

濱名 均<sup>はまな ひとし</sup> 63歳 8/15 南4丁目

日浦 吉春<sup>ひら きちる</sup> 93歳 8/17 栄 町

佐藤 勇<sup>さとう ゆう</sup> 84歳 8/19 北8丁目

前田 園子<sup>まえだ 園子</sup> 74歳 8/24 柏木町

大西 秋夫<sup>おおい あきお</sup> 83歳 8/26 錦 町

滝口 清<sup>たきぐち しみず</sup> 92歳 8/30 月見台

荒木 譲作<sup>あらかみ じょうさく</sup> 88歳 9/1 南2丁目

今野 建治<sup>いまの けんぢ</sup> 71歳 9/5 山手町

森山 順一<sup>もりやま じゅんいち</sup> 81歳 9/7 北5丁目

古寺 ミツ子<sup>ふるでら みつこ</sup> 81歳 9/14 向陽町

# ほんべつ学びの日 夢風事業 本のまち 夢づくり講演会



**とき** 10月17日(火)  
午後6時30分から

**ところ** 中央公民館大ホール

**講師** 児童文学者・詩人 矢崎 節夫氏

1947年東京生まれ。童謡集、童話集、絵本など著作多数。童謡詩人金子みすゞの研究者としても世界的に活躍。2003年から金子みすゞ記念館(山口県長門市)館長。

## 演題 世界に広がるみすゞさんのまなざし ～みんなちがって、みんないい～

矢崎節夫さんの講演は5年ぶり。今回は、前号でお伝えした英語版絵本『ARE YOU AN ECHO? (こだまでしょうか)』の出版などを通して、今海外で再び注目されている金子みすゞの、人や自然に向けたやさしい心について、お話していただきます。

「遊ぼう」っていうと  
「遊ぼう」っていうと  
「遊ぼう」っていうと  
「馬鹿」っていうと  
「馬鹿」っていうと  
「もう遊ばない」っていうと  
「遊ばない」っていうと  
そうして、あとで  
さみしくなって、  
「ごめんね」っていうと  
「ごめんね」っていうと  
こだまでしょうか、  
いいえ、誰でも。

金子みすゞ

図書館ボランティアぶっくるによる詩の朗読、手づくりのしおりのプレゼントもあります(先着順)。どうぞご来場ください。



## わたしたちのまち

前月比  
人口 7,324人(-8)  
男 3,599人(-6)  
女 3,725人(-2)  
世帯数 3,725戸(-7)  
〔8月末日住民基本台帳〕

お問い合わせ先  
**本別町図書館**  
(愛称:ぶっくる一丸)  
本別町北2丁目 ☎・FAX 22-5112